

令和4年第6回教育委員会会議録

日 時	令和4年5月23日（月）13時30分開会 15時00分閉会
場 所	第二庁舎2階第5・6会議室
出席委員	教育長 佐々木 智 委員 佐々木 義朗 委員 荒井 由紀恵 委員 橋場 正人 委員 杉本 功
欠席委員	—
事務局職員	教育部長 磯部 進一 教育部次長 村井 安之 教育部学校指導室長 松原 謙二 企画総務課長 井戸川 邦彦 学校教育課長 中島 肇 青少年課長 廣瀬 誠 生涯学習課長 石井 有子 埋蔵文化財センター長 久保田 健司 学校給食センター長 高岸 徹 学校指導課長 桂川 淳
書 記	企画総務課総務係 阿部 健
議題及び 議事の概要	別紙のとおり

1 第6回教育委員会会議付議事件及び結果表

令和4年5月23日（月）13時30分開会
15時00分閉会

事件番号	件名	議決結果
議案第1号	千歳市議会第2回定例会教育行政報告について	原案可決
議案第2号	令和4年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について	原案可決
議案第3号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	原案可決
議案第4号	千歳市奨学生の選考及び奨学金額の決定について	原案可決
議案第5号	千歳市教育支援委員会委員の委嘱又は任命について	原案可決
議案第6号	千歳市社会教育委員の委嘱について	原案可決
報告第1号	令和3年度公益財団法人千歳青少年教育財団の経営状況を説明する書類の提出について	報告済
報告第2号	令和3年度いじめの把握のためのアンケート調査（道調査2回目）及び千歳市いじめアンケート調査（市調査2回目）の結果について	報告済

2 議題及び会議の概要

教育長	<p>(開会)</p> <p>令和4年第6回教育委員会会議を開催いたします。</p> <p>議案第4号から議案第6号は、個人情報又は人事に関する議事であるため、秘密会にしたいと考えますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように取り扱いたいと思います。</p> <p>次に、日程2 会議録の承認について、お願いします。</p>
総務係長	<p>令和4年4月27日に開催されました令和4年第5回教育委員会会議は、議案が3件ございました。</p> <p>議案につきましては、議案第1号 千歳市奨学生選考委員会委員の委嘱又は任命について、議案第2号 令和4年度学校運営協議会委員の委嘱について、議案第3号 教職員の処分内申について、原案のとおりご決定いただいております。</p> <p>以上でございます。</p>
教育長	<p>会議録の承認の件は、よろしいでしょうか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>続きまして、日程3 教育長の報告です。</p> <p>5月に入り、ゴールデンウィークを終え、教職員や教育委員会職員も含めリフレッシュができたのではないかと思います。暖かくなり、過ごし易い季節になりましたので、学校の行事等が活発化されることを願っております。</p> <p>新型コロナウイルス感染症について、市内の感染状況は毎週200人台後半から300人台前半、1日あたりにすると40人程度で推移しており、3月中旬からこのような状況がずっと続いています。</p> <p>学校の状況としては、ゴールデンウィークが明け、一定数の感染者は出ておりますが、急増などはしておりません。先週、まとまった感染者が出て学校閉鎖を行った学校がありましたが、本日から再開しております。</p> <p>このように、今後も状況に応じ学級閉鎖等を実施しながら付き合っていかなければならないと思っております。</p> <p>一方で、今月に入り、全国都市教育長協議会が山口県山口市で開催され、出席して参りました。会員約800名中、出席者は500名弱で、大きなホールではありますが、対面で開催されました。分科会もあり、1つの広い部屋に200名程度が入り、開催されました。</p> <p>このように、対面での会議が少しずつ開催され始めている状況です。</p>

	<p>次に、5月の定例校長会で話した事項について、報告させていただきます。 (資料に沿って、次の内容について説明)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染症対策を踏まえた教育活動の実施について 2. 修学旅行等の実施について 3. ICTの効果的な活用・学習者用コンピュータの平時持ち帰りについて 4. 令和4年度 千歳市学力向上検討委員会の取組について 5. 時間外勤務時間(4月)と勤務管理システムの利活用について <p>その他連絡事項は、記載のとおりです。 私からの報告は以上でございます。何かご質問等はよろしいでしょうか。 (一同「なし」の声)</p> <p>それでは、日程4 議案に入ります。 議案第1号 千歳市議会第2回定例会教育行政報告について、事務局から説明をお願いします。</p>
企画総務課長	(千歳市議会第2回定例会教育行政報告について、議案書に沿って説明)
教育長	ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。
荒井委員	小中学校の学級数について、小学校233学級、中学校94学級となっておりますが、特別支援学級も含めての数でしょうか。
教育長	そうです。ですので、児童生徒数が26名の減となっておりますが、学級数は9学級の増となっております。
荒井委員	分かりました。
教育長	ほかはいかがですか。 (一同「なし」の声) それでは提案どおり決定させていただきます。
	次に、議案第2号 令和4年度一般会計補正予算(教育費関係予算)について、事務局から説明をお願いします。
埋蔵文化財センター長 学校給食センター長	(令和4年度一般会計補正予算(教育費関係予算)について、議案書に沿って説明)

教育長	ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。
荒井委員	給食に係る値上げは食材に対するものですか。
学校給食センター長	食材の副食費、いわゆるおかずに関する増額分となります。
荒井委員	それを1年間分プールするということだと思いますが、その先、次年度以降の予定は決まっているのでしょうか。
学校給食センター長	今回は国による臨時交付金の措置がありましたので追加することとしましたが、次年度以降については、国の動きが分かっていない状況です。
荒井委員	報道によると、おかずを1品減らしたりしている地域があると目にしましたが、千歳市でもそういった工夫はされているのでしょうか。
学校給食センター長	月に2回から3回ほど、おかずを1品減らしたり、食材の単価がなるべく安いものを選んだり、デザートを減らすなど、子どもたちにとっては少しかわいそうなのですが、そういった対応をしています。
荒井委員	この補正予算によって、そういった節約している部分が緩和され、従来通りの内容になるのでしょうか。
学校給食センター長	今回の対策の趣旨としては、物価高騰に対するものですので、例えば昨年と同じ献立を作る場合に、物価高騰分をカバーして同じものを作るようにするという考えであり、さらにおかずなどを増やすことができるかどうかについては、物価の推移や実績などを見て対応していくこととなります。
教育長	<p>埋蔵文化財センターについては、事業者が調査を実施するべきところですが実施することができないため、市が調査するものです。</p> <p>また、給食費についてですが、千歳市においては、給食費の値上げを検討しなければならない状況になっておりますが、さらに物価高騰の影響が出ているため、その物価高騰の部分について今回の補正予算で補てんするものです。これにより昨年度と同基準の献立にすることはできますが、本来出すべき献立の基準にするためには、今後給食費の値上げ等についても検討していかなければなりませんので、その際には改めてご相談させていただきたいと思っております。</p>

	<p>ほかはよろしいですか。 (一同「なし」の声) それでは提案どおり決定させていただきます。</p> <p>次に、議案第3号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について、事務局から説明をお願いします。</p>
企画総務課長	<p>(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について、議案書に沿って説明)</p>
教育長	<p>千歳市では、教育委員会の施策の点検・評価については、市で行っている外部評価を活用しており、これまでは、教育委員会の施策を年におおむね2施策ずつ外部評価していたのですが、今後は全体のバランスを考慮し年に1施策ずつ実施することとなります。これが十分といえるかどうかについて、他の自治体の状況も確認しながら、次年度以降の実施方法について検討していきたいと思っております。</p> <p>ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。 (一同「なし」の声) それでは提案どおり決定させていただきます。</p> <p>次に、議案第4号 千歳市奨学生の選考及び奨学金額の決定について、事務局から説明をお願いします。</p> <p><秘密会につき会議録省略></p> <p>それでは提案どおり決定させていただきます。</p> <p>次に、議案第5号 千歳市教育支援委員会委員の委嘱又は任命について、説明をお願いします。</p> <p><秘密会につき会議録省略></p> <p>それでは提案どおり決定させていただきます。</p> <p>次に、議案第6号 千歳市社会教育委員の委嘱について、説明をお願いします。</p>

	<p><秘密会につき会議録省略></p> <p>それでは提案どおり決定させていただきます。</p> <p>次に日程5 報告に入ります。</p> <p>報告第1号 令和3年度公益財団法人千歳青少年教育財団の経営状況を説明する書類の提出について、説明をお願いします。</p>
生涯学習課長	(令和3年度公益財団法人千歳青少年教育財団の経営状況を説明する書類の提出について、議案書に沿って説明)
教育長	<p>ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。</p> <p>(一同「なし」の声)</p> <p>それでは、これについては、報告済みといたします。</p> <p>次に、報告第2号 令和3年度いじめの把握のためのアンケート調査(道調査2回目)及び千歳市いじめアンケート調査(市調査2回目)の結果について、事務局から説明をお願いします。</p>
青少年課長	(令和3年度いじめの把握のためのアンケート調査(道調査2回目)及び千歳市いじめアンケート調査(市調査2回目)の結果について、議案書に沿って説明)
教育長	ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。
佐々木委員	具体的ないじめの内容はどのようなものがあるのでしょうか。
青少年課長	小学校で多いものは「叩かれたり蹴られたりした」「一緒に遊んでくれない」「強い言葉で注意された」「嫌なアダ名で呼ばれた」などがあります。
佐々木委員	学校では、調査だけではなく、具体的に解決するための対応をされているのでしょうか。
青少年課長	学校では、嫌な思いをしたことがある子ども達には、全員面談をして内容を把握し、話を聞く中で解決するもの、継続しているものがありますが、継続しているものについては日ごろから注視し、場合により再度面談するなどの対応をしています。

荒井委員	今現在、重大ないじめの事例はありますか。
青少年課長	新年度に入り、今現在のところそういった事例ありません。
荒井委員	中学校のアンケート結果で、「恥ずかしいことや危険なことをされたりさせられたことがある」というものが1件あり心配ですが、学校の先生がしっかり対応されていると考えてよろしいでしょうか。
青少年課長	各学校において、全てのアンケートの結果を見て、対象となる児童生徒と面談し対処しています。それでも継続するようであれば教育委員会としても注視し、相談を受けたり、場合によって相手方と話をしたりという対応をしています。
荒井委員	嫌な思いをしたとの回答件数は大きく変わっていませんが、いじめの認知件数が11月と1月の調査で大幅に増加している学校がありますが、学校の先生がとても親身になって認知につながったなど、理由は分かりますか。
青少年課長	各事案について、学校でしっかりと面談して対応してもらっており、その中で学校として認知したかどうかを判断してもらっています。詳細は分かりませんが、内容が軽いものだったり、話を聞いて解決したり、また、解決せず、相手と話し合いをしたり、ということなどがある中で、現場でいじめの認知について判断してもらっている結果となります。
荒井委員	認知とするか否かの統一された基準はあるのですか。学校によって、もしくは先生によって判断が異なることもあるのでしょうか。
青少年課長	例えば、加害児童生徒への適切な指導を行うとともに、被害児童生徒の心のケアを進めることを丁寧に実施してほしいこと、いじめのサインとして注意すべき児童生徒の行動や態度があった場合、チェックリストを活用し日ごろから注視してほしいこと、対処マニュアルを職員会議等で改めて共有すること、いじめの認知をしていない学校についても児童生徒や保護者に公表することで認知漏れが生じないようにすることなど、教育委員会として、校長会や教頭会でいじめの認知についての認識の共有を図っています。
佐々木委員	学校から子どものいじめについて保護者に連絡があった場合、保護者はどういった対応をするものなのでしょうか。
青少年課長	学校では親と面談をするなどしています。

佐々木委員	アンケート結果については、対象の家庭のみに公表しているのですか。PTA連合会などにも共有しているのでしょうか。
青少年課長	結果については、学校の判断により児童生徒や保護者に公表するものとされており、家庭に公表している学校もありますが、PTA連合会に対しては公表していません。
教育長	アンケート結果について、学校ではどのような形で児童生徒、保護者に公表しているのですか。
学校指導課長	ケースバイケースではありますが、当該児童生徒や保護者に対しては結果の詳細を伝えますが、全ての家庭に対して細かな数字等は出さず、学校としていじめ案件について把握し対応しています、という公表の仕方をしている学校も多くあります。
教育長	このアンケート結果については、アンケート時の個別事案ごとの積み重ねの結果であり、学校ごとの傾向はあるものの、統計的なものではありませんので、突然増えることもあれば減ることもあるものと考えています。
杉本委員	千歳市では、北海道のアンケートと市のアンケートを2回ずつ、計4回実施しており、非常に丁寧に取り組んでいると思います。 認知件数については、数が多いこと少ないことが良い悪いではなく、学校として積極的にいじめを認知し、個別に対応するということが重要だと思います。 私も、11月から1月で認知件数が増えている学校があることに着目するべきだと思っており、2か月の間に新たにいじめが発生したのか、学校の認知の仕方が変わったのか、子どもが思い出したのか、そこを精査していくことが大事なのではないかと思います。
教育長	数字の中身としては、新たなものもあるかもしれませんが、様々なケースがあると思いますが、ひとつひとつに対応していくことが大事だと思います。 ほかはよろしいですか。 (一同「なし」の声) それでは、これについては、報告済みといたします。 これを持ちまして、本日の教育委員会会議を終了します。 (閉会)